

軽自動車税（種別割）のお知らせ

■問い合わせ
本庁税務課市民税係（☎34-2173）

納税通知書を4月28日に発送します

お手元に届いたら、内容をご確認の上、納期限の5月31日☎までにお近くの金融機関またはコンビニエンスストアで納付してください。

軽自動車税（種別割）などの市税は、スマートフォンのアプリを使った納付も可能です。ただし、領収書や納税証明書（継続検査用）が発行されません。車検などで必要な人は、金融機関などの窓口で納付してください。

減免申請を受け付けます

本年度の軽自動車税（種別割）の減免申請を次のとおり受け付けます。昨年度に減免を受けた人も、あらためて手続きが必要です。なお、減免は普通自動車・軽自動車など合わせて1台のみで、福祉乗車券との重複申請はできません。

■対象者

身体、知的または精神に障がいのある人とその介護者

障がいの区分	該当級数（本人運転）
視覚障害	1～4級
心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能障害	1級、3～4級
平衡機能障害	3級
音声機能障害	3級（喉頭摘出による音声機能障害がある場合に限る）
上肢不自由	1～2級
下肢不自由	1～6級
体幹不自由	1～3級、5級
乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	上肢機能：1～2級 移動機能：1～6級
聴覚障害	2～3級
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1～4級
肝臓機能障害	1～4級
知的障がい者：障害の程度A 精神障がい者：障害等級1級	

※生計を同じくする人や常時介護する人が運転する場合は、市ホームページをご覧ください

※複数の障がいがある人は、それぞれの障がい「身体障害者手帳の身体障害者等級表による級別」欄に記載された障がいの級別に該当するものとみなします

■対象車両

障がいのある人が所有し、本人または生計を同じくする人が運転する軽自動車

※本人の所有以外で減免が受けられるのは、本人が18歳未満の場合か、知的または精神に障がいがある場合に限ります

■申請に必要な物

①障がいに関する手帳、②自動車検査証、③運転する人の免許証、④納税通知書、⑤本人以外が運転する場合は、その使用目的に応じた証明書など、⑥個人番号カード（マイナンバーカード）または通知カード

■申請日時・場所

期日	時間	場所
5月2日☎～24日☎の平日	8:30～17:15	本庁税務課
5月10日☎	9:30～13:00	江刺総合支所 市民生活グループ
5月11日☎		前沢総合支所 市民福祉グループ
5月12日☎		胆沢総合支所 市民生活グループ
5月13日☎		衣川総合支所 市民福祉グループ

【郵送申請】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送での申請を受け付けます。申請期限を過ぎると受け付けできませんので、余裕を持って申請してください。

■申請方法 問い合わせ先に備えてある軽自動車税減免申請書（市ホームページにも掲載）に、次の添付書類を添えて提出する

■添付書類 ①障がい者手帳の写し（顔写真、障がい名と等級欄、住所が分かるそれぞれのページ）、②自動車検査証の写し、③運転する人の免許証の写し、④本人以外が運転する場合は、その使用目的に応じた証明書など、⑤個人番号カード（マイナンバーカード）または通知カードの写し

■申請期限 5月24日☎（当日消印有効）

■送付先 〒023-8501 ※住所記載不要

奥州市役所 財務部税務課

市ホームページ▶



記念碑との写真撮影に笑顔で臨む大田代小学校の児童たち

大田代小学校

田原小学校と統合する大田代小学校（小野寺清校長・児童15人）の閉校式が3月20日、同校体育館で開かれました。閉校の告辞や校旗返納、校歌斉唱などが行われ、1433人の卒業生を送り出してきた148年の歴史に終止符を打ちました。

お別れの言葉では、児童一人一人が学校の歴史や思い出を発表。「築いてきた伝統を未来へ引き継いでいく。ありがとう大田代小学校、さようなら」と全員で言葉を締めくくりに、「はじまりの歌」の合唱で感謝や旅立ちを表現しました。

江刺南中学校

式典終了後には、学校敷地内に建立された記念碑の除幕も行われ、児童や保護者らが思い出を胸に刻み込みました。

藤里、伊手の両中学校を統合し創立した江刺南中学校（千葉賢一校長・生徒46人）の閉校式が3月19日、同校体育館で行われました。式典では、前生徒会長の伊藤望来さん（当時3年生）が「地域と私たちをつなぐ中学校がなくなるのは寂しいが、思い出は心の中に存在し続ける」とお別れの言葉を述べました。2170人の卒業生を

江刺東中学校

3年度をもって44年の歴史に幕を閉じる江刺東中学校（関川寛司校長・生徒105人）の閉校式が3月19日、同校体育館で行われました。同校は四つの地域に見守られ、これまでに3952人の卒業生を輩出してきました。

に幕を閉じる江刺東中学校（関川寛司校長・生徒105人）の閉校式が3月19日、同校体育館で行われました。同校は四つの地域に見守られ、これまでに3952人の卒業生を輩出してきました。



江刺南中学校の校旗を広げる生徒と千葉校長



歌い継がれてきた校歌を心の中で歌う江刺東中学校の生徒たち

閉校式

学校再編に伴う大田代小学校、江刺南中学校、江刺東中学校の閉校式が3月19日と20日に、各学校で行われました。児童生徒や教職員らが出席して、これまで築いてきた歴史と伝統を振り返り、誇りを胸に新たな歴史を刻んでいくことを誓いました。

式典で前生徒会長の千田悠陸さん（当時3年生）は「校舎から元氣な声が聞こえなくなるのは寂しいが、共に過ごした日々は忘れない」と学校や地域への感謝の思いを伝えました。その後、校旗を返納し、全員で校歌を黙唱。長年地域に根差してきた学校に別れを告げました。

閉校事業実行委員会では、閉校に当たって記念リーフレットを作成し、学区内の全戸に配布しました。